

# SA3-DK5-EU3R セットアップガイド

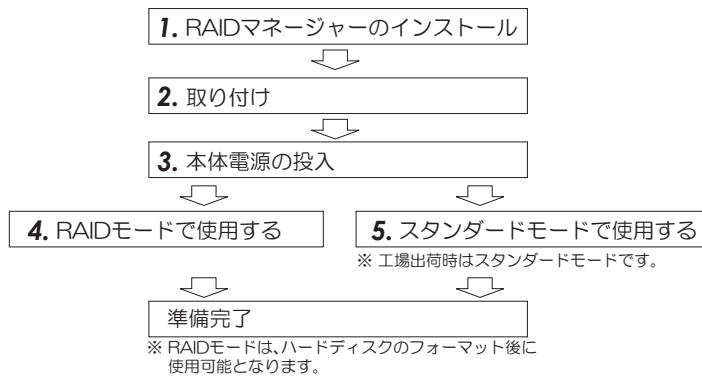
2013年2月 第1.0版

RATOC Systems, Inc.



※本文中の画面例は、Windows 8またはMac OS 10.8.2です。その他OSでは画面が若干異なります。  
※記載している内容は、本紙制作時のものです。フォルダー名、ファイル名、画面などが変更されている  
場合があります。  
※本紙ではハードディスクをHDDと略することがあります。

## セットアップの流れ



- (参照) 6. 本製品の取り外し  
7. DIPスイッチによる設定  
RAIDマネージャーのアンインストール

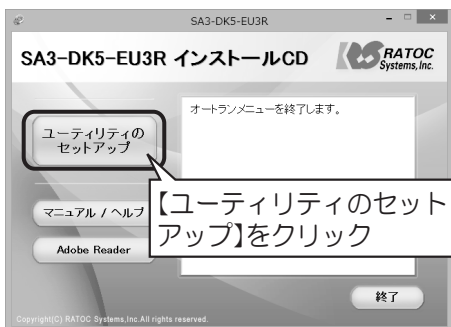
## 1. RAIDマネージャーのインストール

- 1-1. パソコンを起動します。  
※Windowsの場合、Administrator(管理者)権限でログインします。

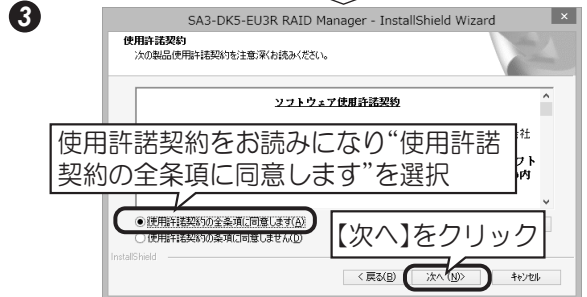
- 1-2. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入します。

### Windowsの場合

- 1 メニュー画面が表示されます。



※自動的に表示されない場合は、【コンピューター(またはマイコンピュータ)】の【CDドライブ】を開き、【autorun.exe】をダブルクリックしてください。  
※Windows 7/Vistaの場合、「自動再生」画面が表示されたら、【autorun.exe】の実行をクリックしてください。また、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、【はい】または【許可】をクリックしてください。



- 5 インストールが完了後、【完了】をクリックします。
- 6 【完了】をクリック後しばらくして、RAIDマネージャーが起動しますので、一旦終了し、2. 取り付けへ進んでください。

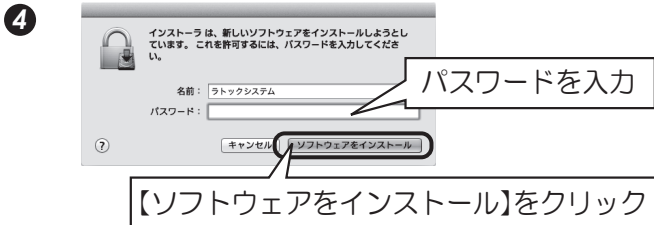
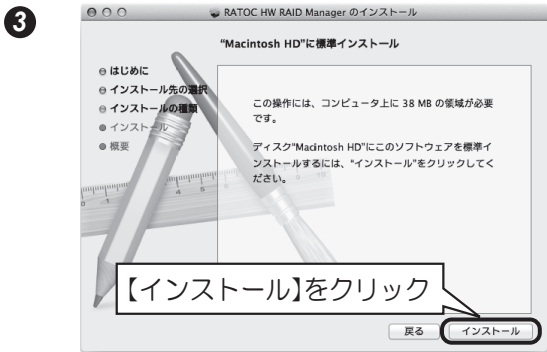


### Mac OSの場合

- 1 製品添付のCD-ROMの【Utility】フォルダーの中の【RATOC HW RAID Manager.dmg】をダブルクリックします。

- 2 次の画面が表示されます。

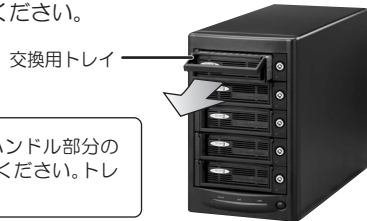




- 5 インストールが完了しました。【閉じる】をクリックします。  
2. 取り付けへ進んでください。

## 2. 取り付け

- 2-1. トレイ取り外し用ハンドルを持ち、“交換用トレイ”を矢印の方向へ引き出してください。



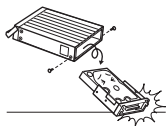
### 注意

トレイ取り外し用ハンドルは、ハンドル部分のみを持って持ち運びをしないでください。トレイが落下する恐れがあります。

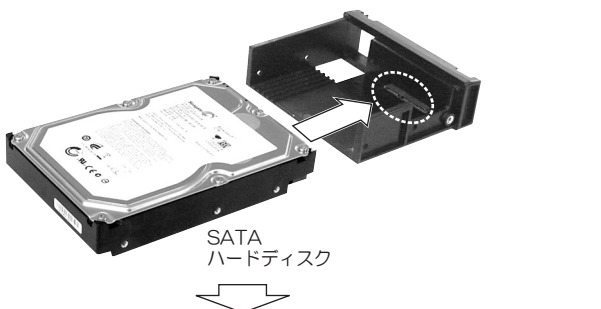
- 2-2. ハードディスクをトレイに取り付けます。

### 注意

- ネジ止めやネジ外しをおこなう際に、スリーブからハードディスク/SSDを装着したユニットが滑り出る恐れがあります。落とさないようご注意ください。
- ハードディスク/SSDの取り付け・取り外し作業は、平らな場所に本製品を置いて作業してください。

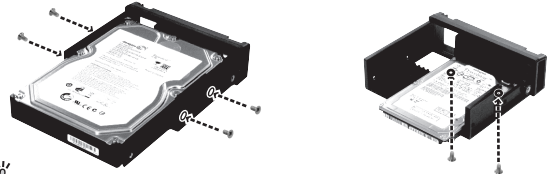


- 1 スリーブ後方の2箇所、ネジを外します。
- 2 HDDマウントユニットを取り外します。
- 3 HDDマウントユニットのコネクタとハードディスクを接続します。



- 4 ハードディスクを同梱のネジでしっかりと止めます。

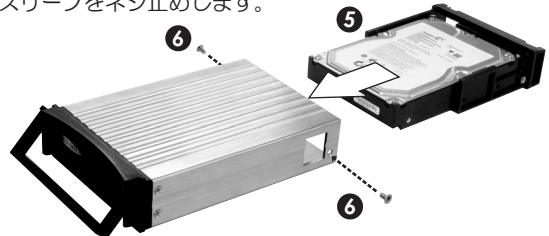
3.5インチ ハードディスクの場合      2.5インチ ハードディスク/SSDの場合



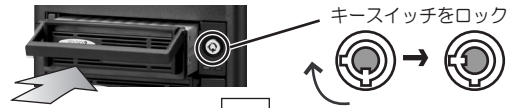
規格外の2.5インチハードディスクやSSDで、ネジ穴が合わずネジ止めしづらい場合は、ハードディスクやSSDを多少動かしネジ穴のずれが少ない側からネジ止めします。

- 5 HDDマウントユニットを元の位置に戻します。

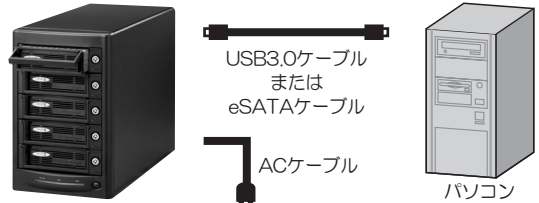
- 6 スリーブをネジ止めします。



- 2-3. トレイをケース本体に挿し込み、ロックキーを少し押し込みキースイッチをロックしてください。



- 2-4. USB3.0ケーブルもしくはeSATAケーブル、ACケーブルを接続してください。パソコンの電源がONの状態でも接続しても問題ありません。



### 注意

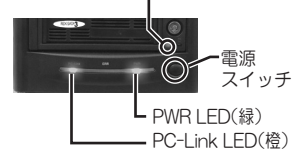
- USB3.0ケーブル、eSATAケーブル、ACケーブルは添付のものをご使用ください。
- USBとeSATAを同時に接続(使用)しないでください。
- 各ケーブルの接続は、コネクタの向きに注意して確実に接続してください。

## 3. 本体電源の投入

- 3-1. 本体の電源スイッチをONにします。

通電/アクセス LED(緑)

- 3-2. PC-Link LED、PWR LED、各トレイのトレイ通電LEDが点灯しているかご確認ください。



※PC-Link LED、PWR LEDが点灯しない場合、電源スイッチがONになっているか、接続ケーブルが正しく接続されているか、パソコンの電源がONされているか、もう一度ご確認ください。  
※トレイのキースイッチがロックされていないと、トレイに通電(ハードディスクにアクセス)されません。

電源投入後、「初期化しますか?」などのメッセージが表示された場合

Mac OSの場合、フォーマットされていないハードディスクを認識すると、右記のメッセージ画面が表示されます。初期化は後の手順でおこないます。一旦、【無視】をクリックしてください。



- 3-3. 使用するモード別に、次の手順へ進んでください。

4. RAIDモードで使用する

5. スタンダードモードで使用する

## 4. RAIDモードで使用する

4-1. 本体の電源スイッチをONにすると、RAIDマネージャーの画面が表示されます。

### Windowsの場合

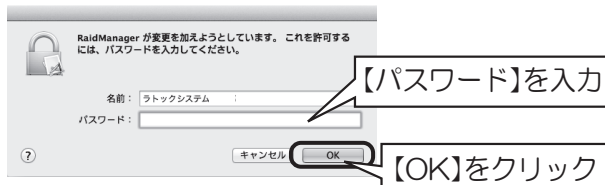
自動的に、RAIDマネージャーの画面が表示されます。  
 ※表示されない場合は、デスクトップのショートカットまたは、Windows 8の場合、スタート画面の【RAIDマネージャ】、Windows 8以外のOSの場合、【スタート】→【すべてのアプリ(プログラム)】→【RATOC SA3-DK5-EU3R】→【RAIDマネージャ】を起動します。



### Mac OSの場合

1 【アプリケーション】→【RATOC HW RAID Manager】フォルダーの中の【RaidManager】を起動します。

2 RAIDマネージャーは、起動時にパスワード入力が必要です。



3 RAIDマネージャーの画面が表示されます。

4-2. RAIDマネージャーにてRAIDを構築します。  
 手順は、RAIDマネージャーのヘルプ「【2】導入・基本編：簡単！RAIDモード作成手順」をご参照ください。



※Mac OSでヘルプが表示されない場合は、【アプリケーション】→【RATOC HW RAID Manager】→【RATOC RAID Manager.pdf】を開きます。

4-3. RAIDマネージャーにてRAIDを構築後、ハードディスクのフォーマットが必要です。  
 OS標準のディスクの管理にてフォーマットをおこないます。  
 手順は、RAIDマネージャーのヘルプ「【2】導入・基本編：フォーマット手順」をご参照ください。

4-4. 以上で、本製品を使用することができます。

6. 本製品の取り外し をお読みになった上で、本製品をご使用ください。

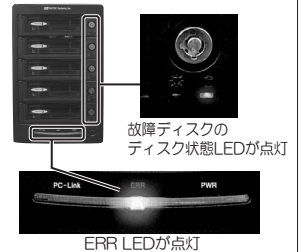


RAIDマネージャーはディスクが故障した際、電子メールで通知することができます。  
 必要な場合は、RAIDマネージャーのヘルプ「【2】導入・基本編：電子メール通知設定手順」を参照し設定します。

### RAIDディスク異常時の対応

ディスクが故障した際は、故障したディスクのディスク状態LEDが点灯し、ERR LEDは点灯します。  
 故障ディスクは、早急に新しいディスクに交換してください。

手順はRAIDマネージャーのヘルプ「【3】RAIDディスク異常時の対応」をご参照ください。



## 5. スタンダードモードで使用する

※スタンダードモードおよびマルチボリュームを使用する場合は、ポートマルチプライヤー対応のeSATAホストインターフェイスが必要です。  
 ※ポートマルチプライヤーに対応していないeSATAインターフェイスでは、一番上の段のHDDのみ認識されます。  
 ※一番上の段のHDDを取り外すと、RAIDマネージャーから他の全てのディスクが認識されなくなります。

“コンピューター(または“マイ コンピュータ”)”、Mac OSでは“デスクトップ”に、新しいデバイスのアイコンが表示されているかご確認ください。

(Windows)

ローカルディスク (F:)

(Mac OS)

USB接続時

eSATA接続時

※HDDの台数分アイコンが表示されます。

※ボリューム名・アイコン・ドライブ文字(D、E等)は、パソコン環境や接続したデバイスによって異なります。

### 上記のアイコンが表示されない場合の対処

未フォーマットのハードディスクを装着された場合は、上記のアイコンは表示されません。まずフォーマットをおこなってください。

### 【フォーマット方法】

- Windows → Windows標準のディスクユーティリティ「ディスクの管理」を使用します。
- Mac OS → Mac OS標準の「ディスクユーティリティ」を使用します。

以上で、本製品を使用することができます。

スタンダードモードで使用する場合、モードの設定は不要です。

6. 本製品の取り外し をお読みになった上で、本製品をご使用ください。

## 6. 本製品の取り外し

### 6-1. USB接続時の取り外し

#### ⚠ 注意

RAIDモード使用時のディスク故障を除き、パソコン使用中にトレイの交換はできません。USBの取り外しを実行し、ケース本体の電源をOFFにしてからトレイを交換してください。

### Windowsの場合

1 Windowsのタスクバーにあるハードウェアの安全な取り外しアイコンをクリックします。



2 【USB大容量記憶装置の取り外し】もしくは【USB to ATA/ATAPI Bridgeの取り出し】を選択します。

3 「安全に取り外すことができます。」のメッセージが表示されたから、本製品の取り外しをおこなってください。

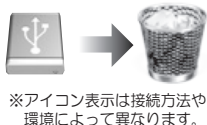
### 「ハードウェアの安全な取り外し」をおこなったが、エラーが表示されて取り外しできない場合の対処

- アンチウィルス等ドライブを監視するソフトが常駐している場合は、本製品を対象からはずして取り外しをおこなってください。
- ファイルエクスプローラー、ディスクの管理等でドライブが表示されている場合は、そのウィンドウを閉じてから取り外しをおこなってください。
- システム上のディスクキャッシュなどのバッファが残っている場合、取り外しはできません。



Mac OSの場合

- HDDのアイコンをゴミ箱に移動します。  
※スタンダードモード時は、HDDアイコンをすべてごみ箱へ移動し、一度に取り外しをおこなってください。
- 本製品の取り外しをおこなってください。



## 6-2. eSATA接続時の取り外し

取り外しの手順はRAIDマネージャーのヘルプ「[2]導入・基本編:パソコン使用中のトレイ交換」をご参照ください。

※ご使用のeSATAインターフェイスがホットプラグに対応していない場合、必ずパソコンの電源を切ってから、作業をおこなってください。  
※ご使用のeSATAインターフェイスにホットプラグ用のソフトが同梱されている場合は、その方法に従ってください。

### パソコン使用中のトレイ交換

弊社eSATAインターフェイス製品とその製品に添付しているホットプラグツールを使用した場合のみ、スタンダードモードでは個々のトレイ交換が可能です。RAIDモードでは、ディスク故障を除き、パソコン使用中にトレイの交換はできません。

# 7. DIPスイッチによる設定

### 注意

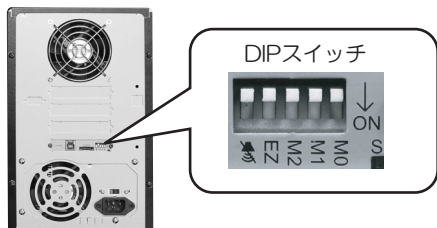
RAIDマネージャーでRAID変更をおこなっている場合、DIPスイッチの状態と現在のRAIDモードは一致しません。

## 7-1. DIPスイッチについて

DIPスイッチで、以下の設定を変更できます。

※DIPスイッチやSETボタンの操作は、ボールペンや小型のドライバーなどの先の硬くて細いものをご使用ください。

※出荷時は全てOFFです。



- RAIDの設定 (M0、M1、M2スイッチ)  
RAIDモードの設定は下記ようになります。

RAIDモード	M2	M1	M0	スイッチの状態
RAID 0	ON	ON	ON	
RAID 1& RAID 10 ※	ON	ON	OFF	
RAID 3	ON	OFF	OFF	
RAID 5	OFF	ON	OFF	
Clone	OFF	ON	ON	
Large	ON	OFF	ON	
スタンダード	OFF	OFF	OFF	

※ハードディスクが2~3台の場合はRAID1を作成し、4台~5台の場合はRAID10を作成します。

## ②ブザーのミュート設定 (スピーカー)

- ON =HDD障害発生時にブザーが鳴らないようにします。  
※HDD破損/RAIDシステム異常時でもブザーは鳴りません。  
※鳴っているブザーを停止することもできます。
- OFF =HDD障害発生時にブザーが鳴るようにします。

## ③オートリビルド設定 (EZスイッチ)

- OFFにすると、HDD障害発生時、スペア用ディスクに対し自動的にリビルドをおこないます。  
※セットしたディスクの中で、一番下の段に挿入したディスクがスペア用ディスクになります。
- ONにすると、新しいディスク挿入時にリビルドをおこないません。

## 7-2. RAID作成手順

- 本製品の電源をOFFにします。
- DIPスイッチのM0、M1、M2をすべてOFF(スタンダードモード)にします。
- DIPスイッチの右下にあるSETボタンを押しながら、本体前面の電源をONにします。
- ブザー音が止まるまで(約30秒)、SETボタンを押し続けます。
- ブザー音が止まったら、本製品の電源をOFFにします。
- 7-1. ①の図を参照し、作成したいRAIDモードにDIPスイッチを設定します。
- DIPスイッチの右下にあるSETボタンを押しながら、本体前面の電源をONにします。
- ブザー音が止まるまで(約30秒)、SETボタンを押し続けます。

以上で、RAID作成は完了です。パソコンに接続後、ハードディスクをフォーマットすると、本製品を使用することができます。

### RAIDマネージャーのアンインストール

RAIDマネージャーを削除する場合は、以下の作業をおこないます。  
※本製品をパソコンに取り付けている状態、または取り外している状態のどちらでもアンインストールが可能です。

#### Windowsの場合

- 製品添付CDをパソコンのCDドライブに挿入します。
- メニュー画面の【ユーティリティのセットアップ】をクリックします。  
※自動的に表示されない場合は、【コンピューター(またはマイコンピュータ)】の【CDドライブ】を開き、【autorun.exe】をダブルクリックしてください。  
※Windows 7/Vistaの場合、「自動再生」画面が表示されたら、【autorun.exeの実行】をクリックしてください。また、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、【はい】または【許可】をクリックしてください。
- 次の画面が表示されます。



- RAIDマネージャーの削除は完了です。【完了】をクリックしてください。

#### Mac OSの場合

- 【アプリケーション】→【RATOC HW RAID Manager】フォルダーの中の【uninstaller】をダブルクリックします。  
※削除処理は、すぐに開始されキャンセルできません。
- RAIDマネージャーの削除は完了です。【完了】をクリックしてください。

